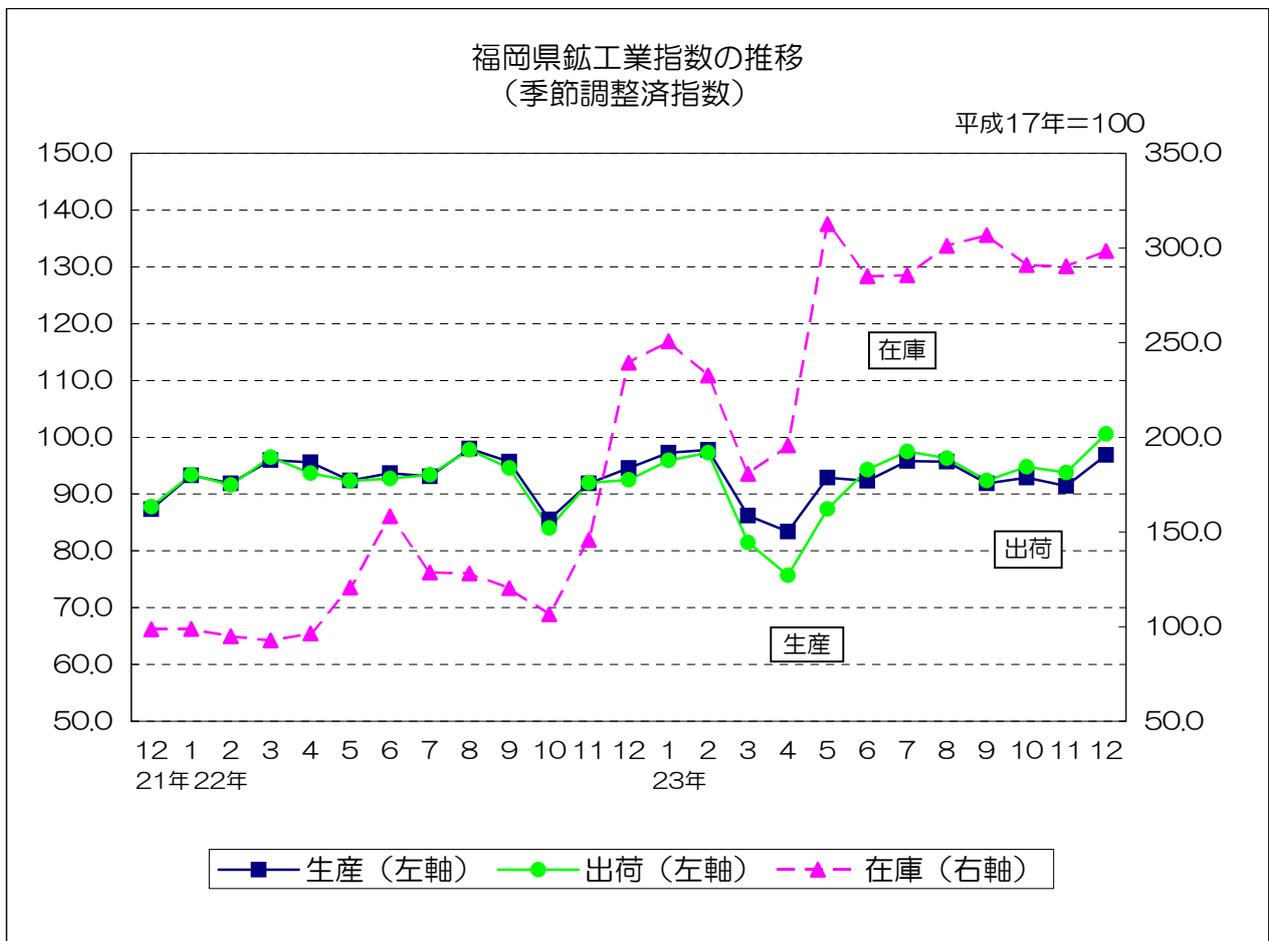


平成17年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成23年12月)



平成23年12月の鉱工業指数

概況

- 平成23年12月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比6.0%の上昇、出荷が同7.2%の上昇、在庫が同2.8%の上昇となった。

- （1）生産
 - 季節調整済指数 : 96.9で前月比6.0%上昇 (2か月ぶりの上昇)
 - 原指数 : 98.8で前年同月比2.6%上昇 (3か月連続の上昇)
- （2）出荷
 - 季節調整済指数 : 100.6で前月比7.2%上昇 (2か月ぶりの上昇)
 - 原指数 : 101.8で前年同月比8.1%上昇 (3か月連続の上昇)
- （3）在庫
 - 季節調整済指数 : 298.4で前月比2.8%上昇 (3か月ぶりの上昇)
 - 原指数 : 285.1で前年同月比25.3%上昇 (20か月連続の上昇)

- 前月比（季節調整済）

	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（18業種中）	: 14業種	0業種	4業種
出荷（18業種中）	: 14業種	0業種	4業種
在庫（18業種中）	: 9業種	0業種	9業種

（1）九州・全国との比較

（平成17年=100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	96.9	6.0	98.8	2.6
	出荷	100.6	7.2	101.8	8.1
	在庫	298.4	2.8	285.1	25.3
九州	生産	107.0	2.1	107.6	1.4
	出荷	113.9	10.0	113.8	7.8
	在庫	127.7	▲ 5.6	129.4	16.7
全国	生産	93.4	3.8	93.9	▲ 4.3
	出荷	95.6	4.6	97.8	▲ 3.0
	在庫	100.0	▲ 2.9	99.9	3.4

（2）前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
化学工業 輸送機械工業 電気機械工業 鉄鋼業 プラスチック製品工業 窯業・土石製品工業 金属製品工業 非鉄金属工業 木材・木製品工業 家具工業 繊維工業 鉱業 ゴム製品工業 パルプ・紙・紙加工業	食料品・たばこ工業 一般機械工業 電子部品・デバイス工業 石油・石炭製品工業

四半期別指数の動向

平成23年 10～12月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比0.8%低下
出荷が同1.0%上昇、在庫が同1.5%低下となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 93.7で前期比0.8%低下 (2期ぶりの低下)

原指数 : 97.5で前年同期比3.4%上昇 (3期ぶりの上昇)

(2) 出荷

季節調整済指数 : 96.4で前期比1.0%上昇 (2期連続の上昇)

原指数 : 99.8で前年同期比7.2%上昇 (2期連続の上昇)

(3) 在庫

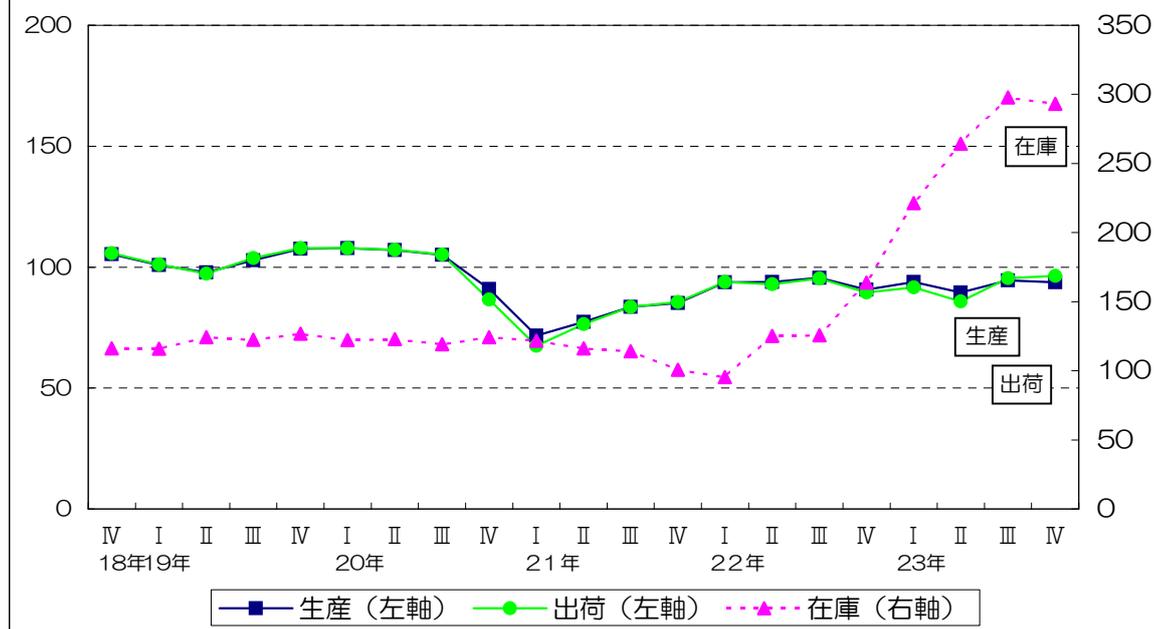
季節調整済指数 : 293.2で前期比1.5%低下 (7期ぶりの低下)

原指数 : 294.9で前年同期比81.3%上昇 (7期連続の上昇)

平成17年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)
22年	10～12月期	90.7	▲5.1	89.5	▲6.1	163.9	30.4
23年	1～3月期	93.8	3.4	91.6	2.3	221.4	35.1
	4～6月期	89.5	▲4.6	85.8	▲6.3	264.4	19.4
	7～9月期	94.5	5.6	95.4	11.2	297.8	12.6
	10～12月期	93.7	▲0.8	96.4	1.0	293.2	▲1.5
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
22年	10～12月期	94.3	5.6	93.1	3.7	162.7	60.1
23年	1～3月期	91.3	0.0	89.2	▲2.5	214.1	132.7
	4～6月期	86.4	▲5.1	83.0	▲7.4	270.2	112.4
	7～9月期	96.4	▲0.7	97.5	0.4	303.4	136.5
	10～12月期	97.5	3.4	99.8	7.2	294.9	81.3

四半期別指数の推移(季節調整済指数)



全業種・主要9業種の動向
(23年12月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は96.9(季節調整済)となり、前月と比べると、食料品・たばこ工業、一般機械工業などが低下したが、化学工業、輸送機械工業などが上昇したため、総合で前月比6.0%上昇(前年同月比2.6%上昇)となった。
- (2) 出荷指数は100.6(季節調整済)となり、前月と比べると、鉄鋼業、電子部品・デバイス工業などが低下したが、輸送機械工業、化学工業などが上昇したため、総合で前月比7.2%上昇(前年同月比8.1%上昇)となった。
- (3) 在庫指数は298.4(季節調整済)となり、前月と比べると、食料品・たばこ工業、非鉄金属工業などが低下したが、輸送機械工業、化学工業などが上昇したため、総合で前月比2.8%上昇(前年同月比25.3%上昇)となった。

○ 主要9業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	2.8	▲14.4	粗鋼、めっき鋼材、鋼半製品等
金属製品	3.1	▲4.4	鉄構物、飲料用缶、スチール又はステンレスシャッター等
一般機械	▲2.5	5.2	フラットパネルディスプレイ製造装置、金型、ポンプ等
電気機械	10.3	▲7.8	電力変換装置、交流電動機、開閉制御装置等
電子・デバイス	▲4.2	▲31.0	混成集積回路、線形回路、光電変換素子等
輸送機械	11.3	16.2	普通自動車、自動車部品、鋼船等
窯業・土石製品	4.3	▲1.1	生コンクリート、ほうろろ鉄器、安全ガラス複層ガラス等
化学	48.9	8.3	医薬品、ポリカーボネート、ジフェニルメタンジイソシアネート等
食料品・たばこ	▲2.3	8.8	枝肉、冷凍調理食品等
総合	6.0	2.6	—

[出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲5.6	▲11.0	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼帯、冷延広幅帯鋼等
金属製品	7.4	1.7	鉄構物、飲料用缶、ドラム缶等
一般機械	1.5	7.9	ショベル系掘削機(油圧式)、数値制御金属工作機械、固定比減速機等
電気機械	10.3	▲7.2	電力変換装置、交流電動機、開閉制御装置等
電子・デバイス	▲3.9	▲33.8	混成集積回路、線形回路、光電変換素子等
輸送機械	11.7	21.6	普通自動車、自動車部品、鋼船等
窯業・土石製品	0.1	2.5	ほうろろ鉄器、生コンクリート、衛生用陶磁器等
化学	39.5	4.0	医薬品、ジフェニルメタンジイソシアネート、トルイレンジイソシアネート等
食料品・たばこ	2.3	15.4	清酒、ビール等
総合	7.2	8.1	—

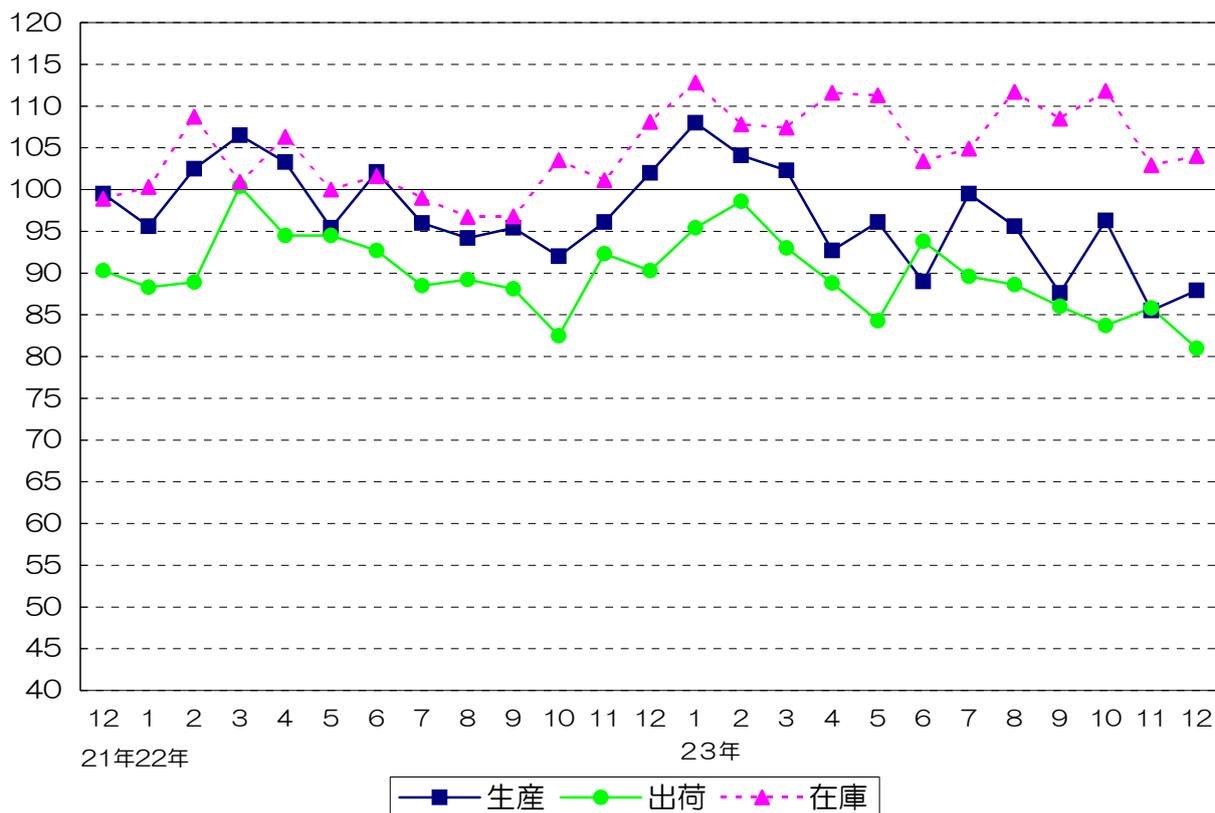
[在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	1.1	▲3.5	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼半製品、銑鉄等
金属製品	▲11.0	▲10.7	ガス湯沸器、飲料用缶
一般機械	▲4.8	80.0	ショベル系掘削機(油圧式)、補器
電気機械	▲17.1	12.5	電力量計、電気ホイスト
電子・デバイス	▲100.0	▲100.0	計数回路、線形回路
輸送機械	3.7	37.0	普通自動車、小型自動車
窯業・土石製品	0.5	5.2	セメント、ガラス短繊維、道路用コンクリート製品等
化学	8.5	14.0	ポリカーボネート、触媒、カーボンブラック等
食料品・たばこ	▲12.8	▲16.6	ビール、焼酎等
総合	2.8	25.3	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

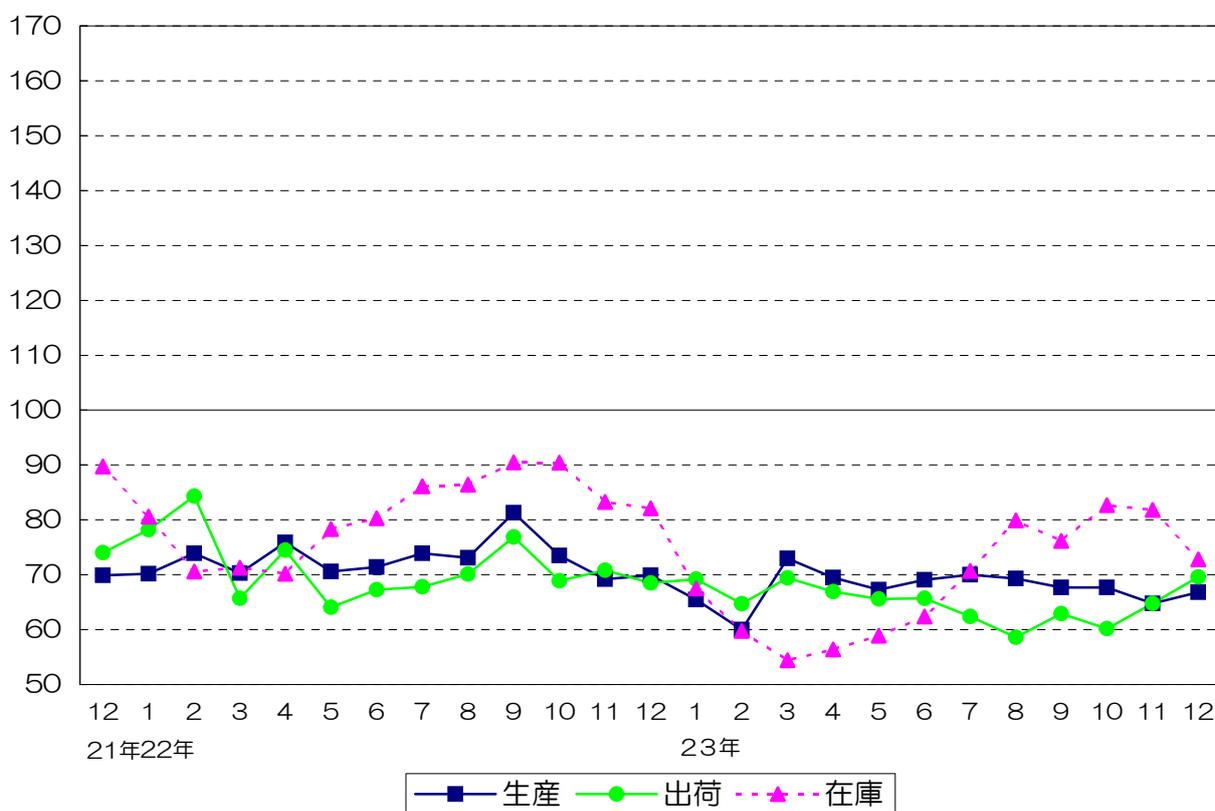
鉄鋼業 (季節調整済指数)

平成17年=100



金属製品工業 (季節調整済指数)

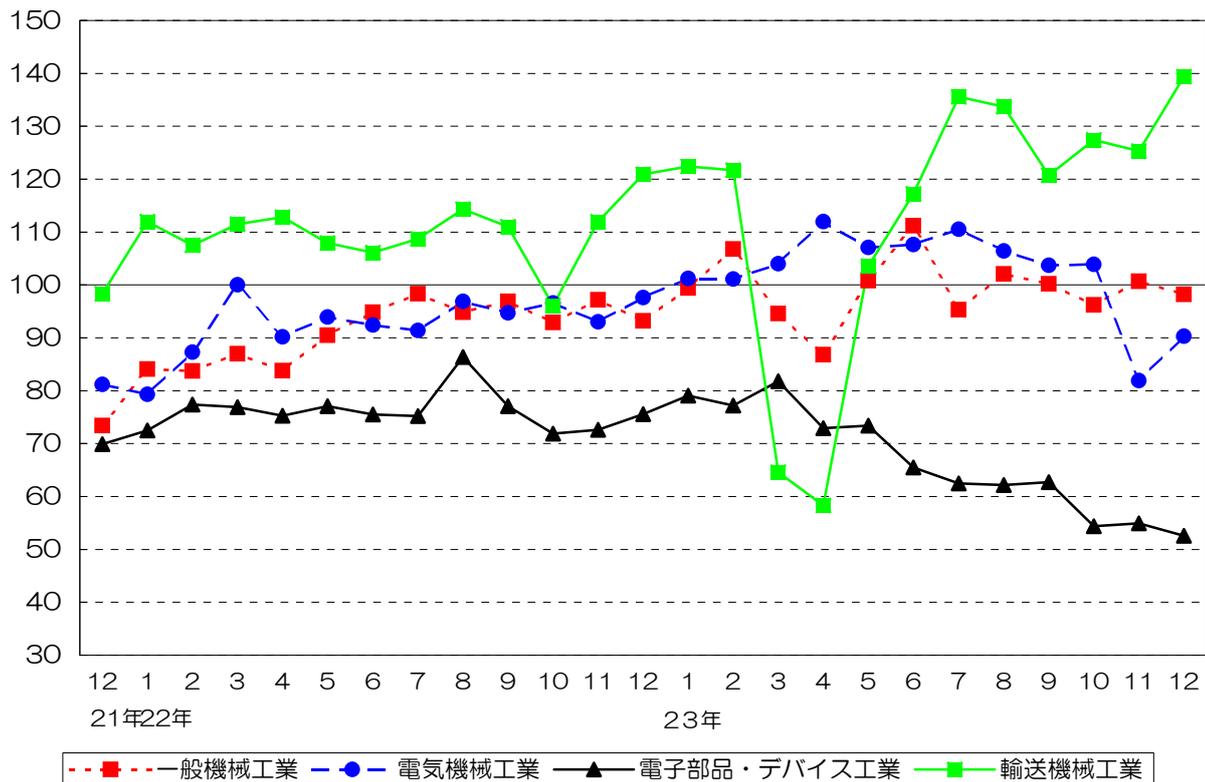
平成17年=100



機械工業（季節調整済指数）

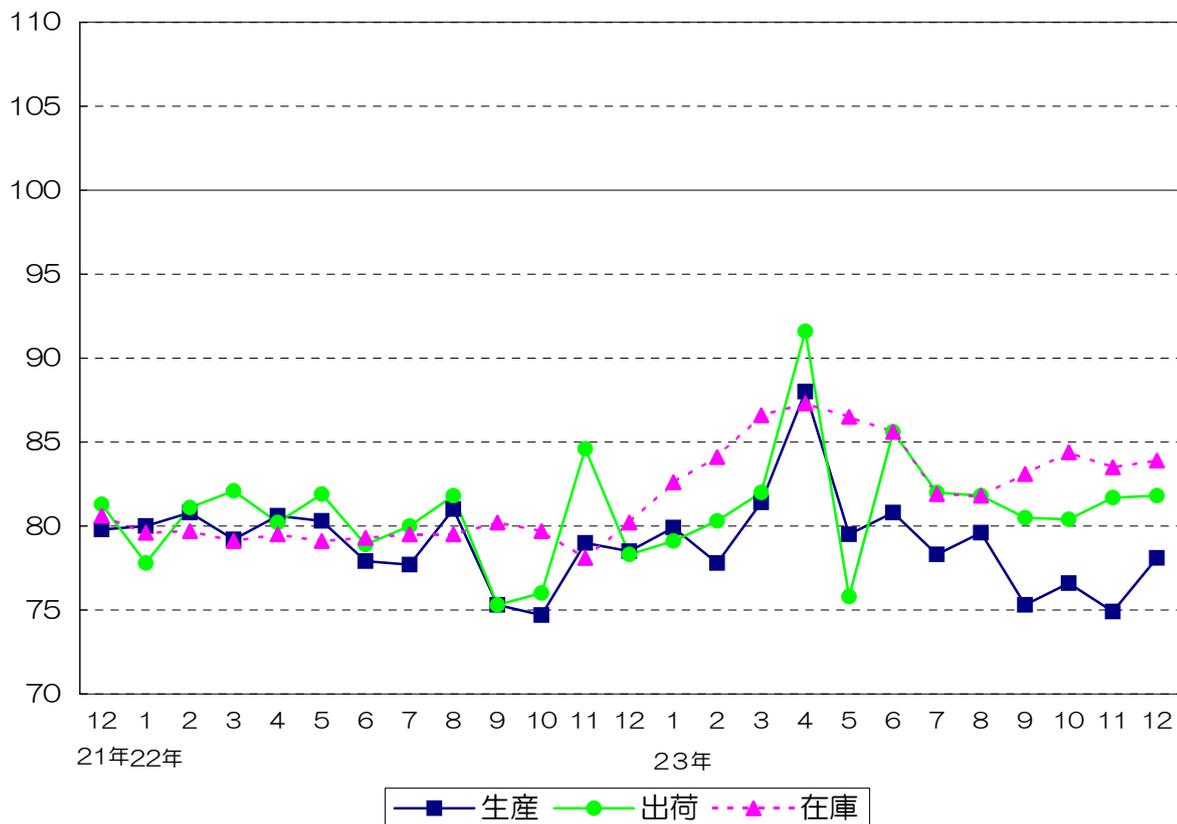
*生産指数のみ。

平成17年=100



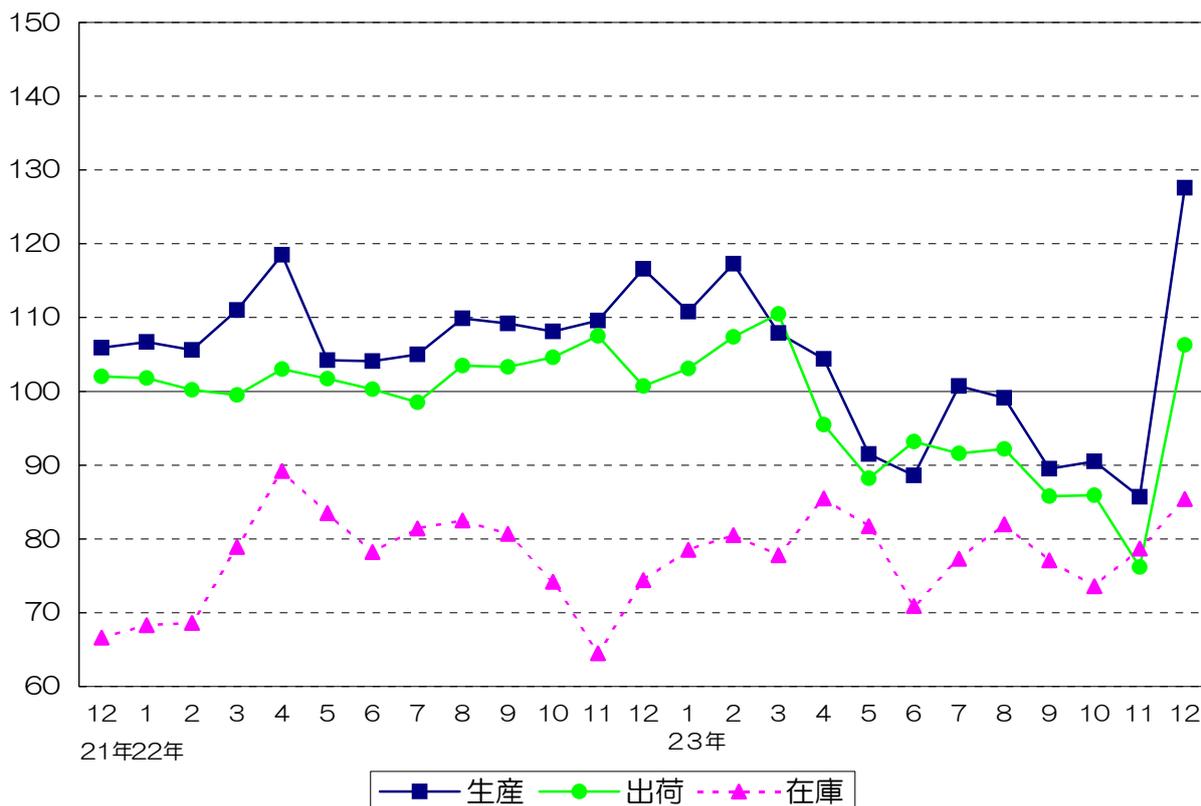
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成17年=100



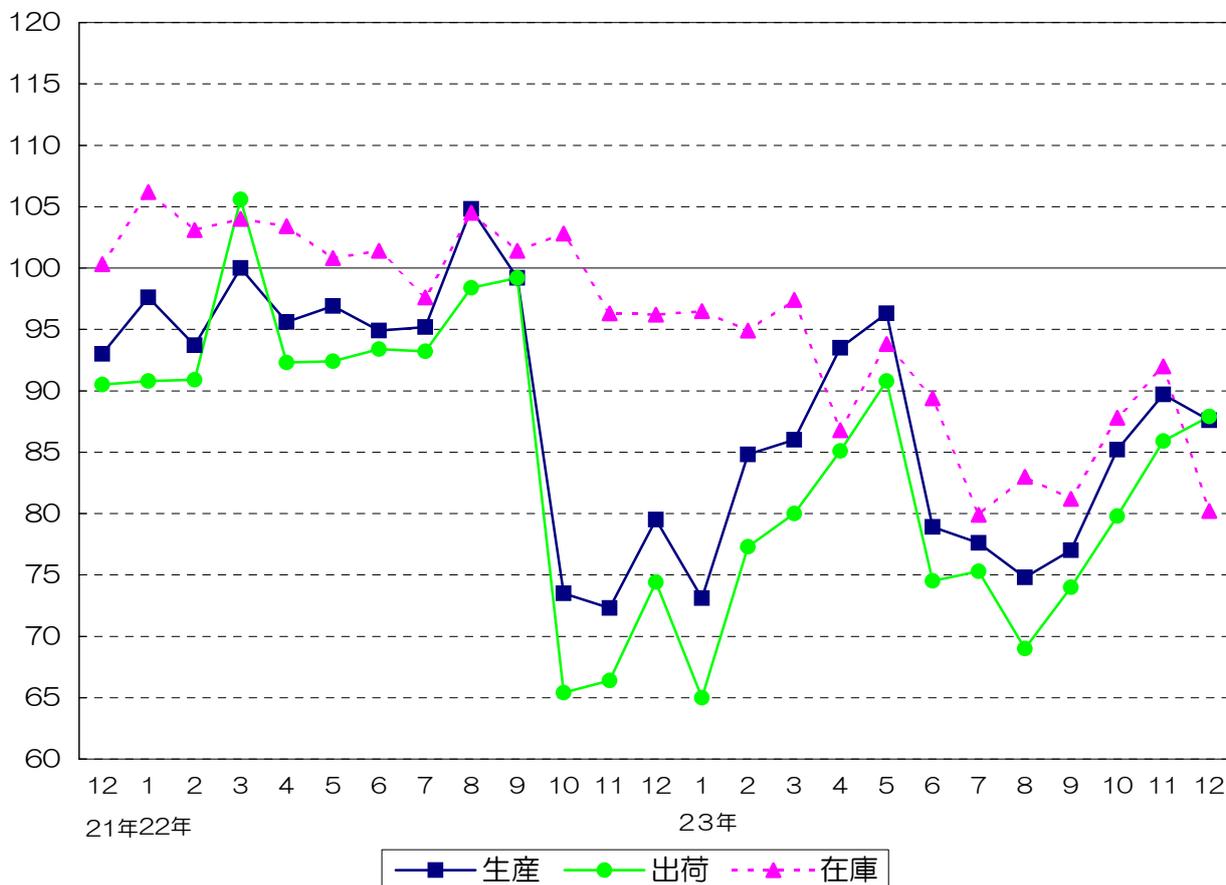
化学工業 (季節調整済指数)

平成17年=100



食料品・たばこ工業 (季節調整済指数)

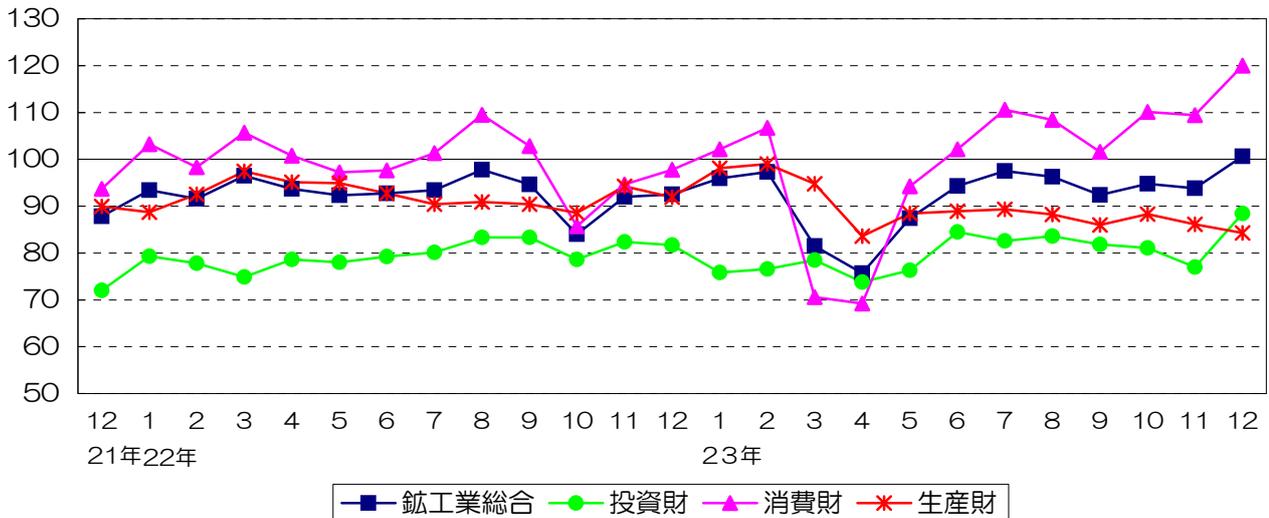
平成17年=100



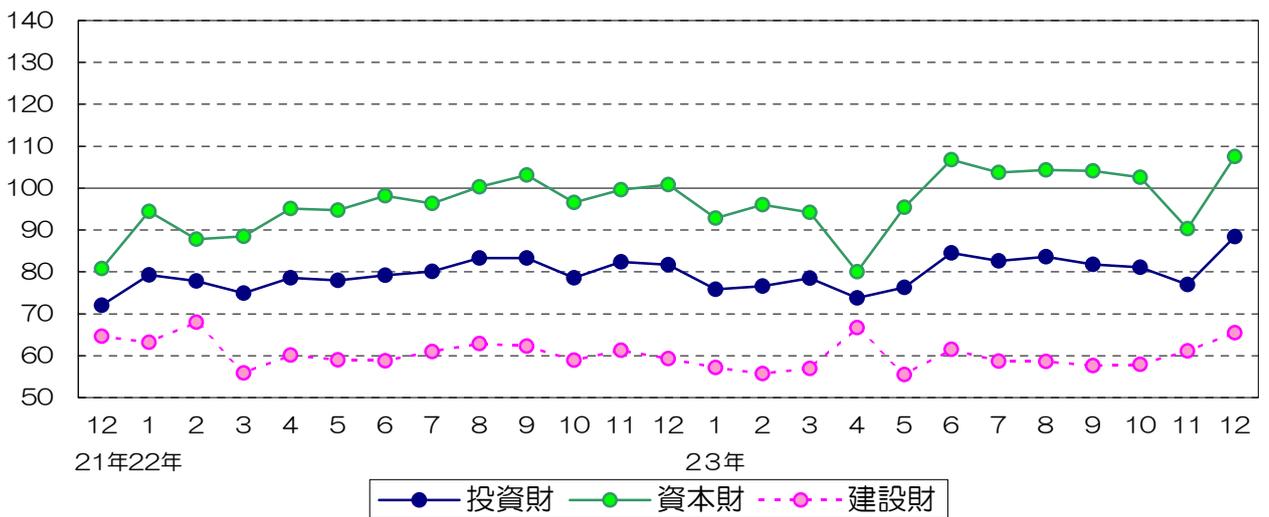
福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

平成17年=100

鉱工業総合



投資財



消費財

